

■欧州：欧州委員会、自動車産業の2030年・CO₂排出削減計画を提示

欧州委員会（EC）は2017年11月8日、自動車産業において温室効果ガス（GHG）排出を制限し、電気自動車（EV）やプラグイン・ハイブリッドカー（PHEV）をはじめとするGHG低排出車・ゼロエミッション車を普及促進することを目的に、2030年までのCO₂排出削減計画を提示した。同計画では、欧州連合（EU）加盟国で生産される新車の乗用車および小型商用車の平均CO₂排出量を2021年比で2030年までに30%削減することを目標とした。また、低排出車・ゼロエミッション車の普及を後押しするため、ECは充電設備の整備に8億ユーロ（約1,000億円）、バッテリーの研究開発に2億ユーロ（約260億円）の補助金を割り当てる予定である。同計画は今後、EU加盟国政府の担当閣僚で構成されるEU理事会と欧州議会で審議される。